



大 南

Contents

| | |
|----------------------------|-----|
| 館長エッセイ 村松 茂美 | 1 |
| 特集:世界を広げよう、視野を広げよう!! | 2~4 |
| news news | 5~6 |
| informations | 7 |
| staff column 津村 秀夫 | 8 |
| 図書館日誌 | 8 |



村松 茂美
Muramatsu Shigemi

旅と読書 —スコットランドのふたりの思想家の話—

かつてイギリスでは大学を卒業するころ「視野と見聞」をひろげるために、ヨーロッパ大陸の旅行がおこなわれた。これはグランド・ツアーとよばれたが、すべての青年に可能であったわけではなく、かなり裕福な家庭の子息にかぎられていた。1707年のイングランドとスコットランドの合邦のころ活躍したスコットランド人アンドルー・フレッチャー（1653-1716）も青年期にグランド・ツアーをおこない、ヨーロッパ諸国に遊学した。この人物が日本で最初に知られたのは、おそらくマルクス『資本論』をとおしてであろうが、彼はスコットランドの国益と世界平和の実現をとともにめざすヨーロッパ連邦を構想した。彼は「愛国者」であったが、同時に「世界市民」たろうとする広い視野の持ち主であった。また彼は当時のスコットランドでは屈指の書物の蒐集家でもあった。生涯にわたってヨーロッパの諸都市を訪問し、あつめた書物は6000冊におよぶ。

当時のスコットランドでは公共の図書館はいまだ整備されていなかった。現在蔵書数300万冊をこえるスコットランド国立図書館がその偉容を誇っているが、この図書館の前身である法曹図書館が設立されるのが1680年であり、その蔵書の中心は、当初は法律関連の文献にかぎられていた。

フレッチャーの死から四半世紀後、スコットランドのカーコーディー生まれの17歳の少年がオックスフォードのペリオル・カレッジにやってくる。当時スコットランドとイングランドの経済格差はかなりのもので、サムエル・ジョンソンの『英語辞典』（1755年）では、barleyは、イングランドでは家畜の餌だがスコットランドでは人間が食っている、とある。彼の最初の異文化体験はそんな差別的雰囲気の中でおこなわれた。その少年はオックスフ

ォードの授業にも大いに不満であった。後年、「オックスフォード大学では、その教授の大部分が、このところ長年にわたって、講義をしているようにみせかけることさえ、まったくやめてしまった」と述べている。しかしオックスフォードの図書館はイギリス第一のもので、彼はそれを利用してギリシア、ラテンの古典を読みふけた。

彼の学界へのデビューは1748年から1751年にかけておこなわれたエディンバラでの公開講義である。主題は修辞学、哲学史、法学についてであった。この公開講義が好評でグラスゴー大学の論理学の、後に道徳哲学の教授となる。やがて彼は『道徳感情論』と題された書物を公刊し、ヨーロッパで学問的名声をかちとる。しかし彼は大学教授の職をまっとうしたわけではない。ある貴族のグランド・ツアーの「つきそい家庭教師」として、大学を辞職しフランスに渡る。この渡仏は彼にとっても大きな転機であった。フランスのエコノミストたちと交流し、帰国後、『国富論』を著し、「経済学の祖」と呼ばれることになる。彼はその著作のなかで習俗=生活習慣(manners)の国民的差異を生活手段の獲得様式の差異から説明した。彼の少年期の異文化体験はこのようなかたちで理論化されたのである。

体験にのみもとづく認識は具体的ではあるが特殊な認識にとどまる。また体験は、無限に積み重ねることができないという意味でも限界がある。体験の理論化によって特殊な認識は普遍的認識へと高まる。彼のその理論化は青年期の幅広い読書を基礎とするものであった。彼の名はアダム・スミス（1723-1790）という。



むらまつしげみ

経済学部教授。2008年1月より図書館長。
【専門分野】 イギリス社会思想史

世界を広げよう、視野を広げよう!!

最近、本を読んでいますか？

読書は、視野を広げたり、新しい知識や知恵を身につけることができます。

みんなは本を読むことでどのように自分の世界を広げているのでしょうか？

今回の特集では2名の先生と3名の学生にお薦めの一冊を紹介していただきました。



韓国人の学者によるユニークな日本人論

『「縮み」志向の日本人』(李御寧著 学生社)

経済学部 国際経済学科 准教授 カーク・マスデン

私がお薦めする一冊



E・タイラーは「文化」を「複雑な総体」と定義した。「総体」という言葉でタイラーは、一つの文化の代表的な価値や習慣、芸術などがばらばらに存在するのではなく、ある程度共通したパターンを持っているという考えを表現したと思う。しかし、「総体」であっても複雑なものなので、どのようなパターンがあるかを見いだすのは意外と難しい。そこで、中根千枝著の『タテ社会の人間関係』や土居健郎著の『「甘え」の構造』の評価が高いのは、比較的シンプルな理論で、それまであまり認識されることのなかった「複雑な総体」の特徴を浮き彫りにしたからだと思う。

ここで、「複雑な総体」としての日本文化のもう一つの特徴を巧みに説明している本として、李御寧著の『「縮み」志向の日本人』をお薦めしたい。中根千枝が「場」、土居健郎が「甘え」に着目したのに対して、李御寧は「縮み」に目をつけた。俳句、扇子、茶、弁当、神棚から電気製品まで、様々な例を引き合いに

しながら、日本文化の特徴の一つは物事を小さく凝縮された形にする志向だと主張している。多くの文化論と同様、一つの鍵概念でさまざまな事柄を結びつけて説明しようとしているので、多少のこじつけはあるが、全体としては読み応えのある本だと思う。

以前、ゼミ生と一緒にこの本を読んだ際には、著者の主張に関する私の解釈と多くのゼミ生の解釈が異なっていたことに驚いた記憶がある。私は李御寧が日本文化の長所として「縮み」という概念を打ち出したと思ったのに対して、ゼミ生は本を日本人に対する悪口として受け止めた。確かに、第6章など、日本の「拡がり」(「縮み」志向からの乖離)に対する批判はあるが、全体としては日本の誇るべき文化の多くは「縮み」志向の産物であると主張しているように思う。「著者は韓国人だから」や「縮み=ちっぽけな」などの偏見や先入観に惑わされることなく、じっくりと読んでいただきたいと思う。

創造的思考を養って視野を広げよう

『頭にガツンと一撃』(ロジャー・フォン・イーグ著 城山三郎訳 新潮社)

外国語学部 英米学科 講師 佐藤 桐子



私たちの日常生活は、ほとんどが同仕事の繰り返しであり、そのせいか新しい事を考え出さなくてはならない時にも、既成の思考回路に束縛されてしまいがちです。『頭にガツンと一撃』という本は、そのような固い頭に衝撃を与え、柔軟な思考(本書では「創造的思考」と言う)を鍛えて、物事を広い視野で考える力を付けたい人に推薦したい本です。

この本は、アメリカの先端企業で働くビジネスマンの研修セミナー用テキストでしたが、市販されるとすぐにベスト・セラーになりました。著者は「創造的思考」を鍛えることの重要性和その方法を説いています。彼によれば、創造的な人は、知識を豊富に蓄え、全く関連性の無い、複数の事柄を、独自の視点で上手く組み合わせることで、斬新なアイデアを生み出していると言うのです。ここで肝心な事は、たとえ失敗しても、新しいアイデアが生まれるまで、試行錯誤を繰り返すという点です。換言すれば、知識をどれだけ増やしても、知識を活かす工夫をしない人は、創造的にはなれないのです。

この本の原文は英文で書かれており、私は、以前、共通英語科目で、原文の序章部分を教えました。

大学生用英語テキストに採用されているように、比較的読みやすい英文ですが、日本語訳でも楽しく読めます。例えば、学生生活の中で知識や経験を積み、それを将来の職業で活かす術を身に着ける、或いは、演習などの授業で独創性を発揮する、といった具体的な目標を視座に置き一読すれば、必ず何かしらの考え方のヒントを得られるでしょう。

創造的な人になるということは、難しく感じるかもしれませんが、本書には、ありきたりの思考回路から脱け出す方法が、ユニークな切り口で説かれています。また、「人生の意味は何か?」といった誰もが一度は抱く疑問に著者独自の視点で答えてくれます。読者は、既成の思考の枠組から解放され、新しい世界へと視野を広げるきっかけを掴めるのではないのでしょうか。



世界を広げよう、視野を広げよう!!



私がお薦めする一冊



とびきりのスマイルに、新しい自分に、 きっと出会えます。

『GNH：もうひとつの〈豊かさ〉へ、10人の提案』（辻信一編著 大月書店）

外国語学部 東アジア学科 3年 新 朋子

この本のタイトルにもなっているGNH、皆さんは何のことかわかりますか。答えは国民総幸福、Hはハピネス＝幸せのHです。「豊かさ」を測るものさしとして使われてきたGNP（Pはプロダクト＝生産物）に対して、「政府の目的はGNPではなくGNHを増やすこと」と、ブータン国王によって唱えられたものです。「本当の豊かさとは何だろう」「心地よさや幸せを感じているのはどんなときだろう」故郷の沖縄で、大学生活を送った北京で、そしてここ熊本で。……違う場所で違うことをしながらも、よく自分の心にといかけていました。好きな音楽を演奏しているとき、砂浜に寝転がってただ波の音を聴いているとき、大切な人と一緒に過

ごす時間……少なくとも私の場合、それはお金やモノと深く結びついたものではないような気がします。

この本では、様々な分野で活躍する10人の著者がGNHというキーワードを基にそれぞれの考える「豊かさ」を語っています。大切にしたいもの、信じたいもの、守りたいものが段々と明確になってきて「私に何ができるだろう、何を伝えられるだろう」と考えていた私に、この本は大きな励ましを与えてくれました。



その人、いつまでおれるか分からんやろ？

『さくら』（西加奈子著 小学館）

経済学部 国際経済学科 2年 坂口 香織

「サクラ」とは犬の名前。幸せな家族にもまれてきたメスの雑種です。この幸せな家族を訪れる様々な不幸は彼らをバラバラにしていきます。しかし、家族は「サクラ」によって再び幸せな時間を取り戻すのです。私は、このお話で、恋しい人への想いが語られる場面が一番忘れられません。

「うち、もし好きな人が出来たらな、好きやって、言う。あんな、好きやて言う。だってな、その人、いつまでおれるか分からんやろ？」

いつまでおれるか分からん。」

ああ、私の好きな人は、いつかぴたりと動きを止め、その体は固くなってしまい、どこかへと帰っていくんだ。そう思うと、「好き」と言葉に出すだけで涙が出てくることに気がきました。当り前の事なのに、その時までそれをじっくりと考えたことはありませんでした。高校生の時にこの本と出会いました。それから私は、好きな人には迷わず好き!と言おうと決めました。そしてもし相手も私のことを好きって言ってくれたら、私はその人の、その人は私の、このお話のサクラのようなそばにただで笑顔になれる絶対的な存在に、お互いなりたいと思います。



スウェーデンの福祉を学んで

『高福祉・高負担国家スウェーデンの分析：21世紀型社会保障のヒント』

（井上誠一著 中央法規出版）

社会福祉学部 福祉環境学科 1年 尾崎 景祐

以前、ゼミでスウェーデンの福祉について学ぶ機会があり、そのときに使った『高福祉・高負担国家スウェーデンの分析：21世紀型社会保障のヒント』という本を紹介しました。

この本を読んでもみると、日本の福祉に対する姿勢がスウェーデンに比べてとても遅れているということに気付かされます。例えば、スウェーデンの国民所得が日本と比べて多いということもあり、国民の負担は日本と比べて2倍以上となっていますが、インフラストラクチャーはとても整っているなどはその一つとしてあげられます。

私は、日本の福祉に対する教育が未熟であるから、こういった

遅れをとっていると考えています。

日本の学校はしょうがい者と健常者を別々の教育環境で育てることがあります。これでは福祉について考える機会は少なく、健常者が外に出てしょうがい者と接するとき、どうしたらよいかわからなくなります。しょうがい者も健常者も区別なく同じ教室で学んでいくこと、同じ教室で学べる環境を整備すること、これが日本の社会福祉を大きく変える第一歩です。そして私たちに今何ができるかを日常生活から見つけていくことが大切だと思います。





和雑誌コーナーでお薦めの一誌

『ニューズウィーク 日本版』

1986年創刊。
世界で毎週400
万部を発行する
国際ニュース
誌・ニューズウ

ークの日本版。独自の企画を制作するほか、英語版の翻訳記事も掲載。日本のメディアにはない深い追求、グローバルな視点で、国際情勢や世界経済から医療、健康、最新シネマなどのエンターテインメントまで幅広いテーマを、豊富なカラー写真と分かりやすいチャートで解説されています。世界中のあら

ゆるジャンルが読める日本で唯一のグローバルニュース週刊誌。「英語版」も3階洋雑誌コーナーにあります。「日本版」、「英語版」両方を見て記事の比較をするのもおもしろいかもしれません。

こちらチェック!

経済分野の世界的なニュースが読めるグローバルな視点に立つ総合ビジネス情報誌『月刊Forbes日本版』や、国際政治経済情報誌『Forsight (フォーサイト)』なども2階和雑誌コーナーにあります。また『Forbes』は3階洋雑誌コーナーに英語版『Forbes』、『Forbes Asia』もあります。

新聞コーナーでお薦めの一紙

『The Japan Times』

1897年創刊の日本最初の日刊英字紙。国内のニュースはもとより、世界中から最新のニュースを届けている。国際的な知性を養う場だけではなく、あらゆる分野の実用英語が満載されているので、英語学習にも最適なメディア。英訳ではなくオリジナルで書き起こした記事がジャパントイムズ紙の魅力。週刊の『The Japan Times Weekly』もあり、こちらは一週間の主な出来事を地域別にまとめて読むことができます(日本語の脚注付き)。

こちらチェック!

辞書なしで読めるジャパントイムズの英語学習紙

『週刊ST』や、同様に日本語付きの『Asahi Weekly』、その他の英字新聞『The Nikkei Weekly』、『The Daily Yomiuri』、『The International Herald Tribune/The Asahi Shimbun』なども2階新聞コーナーにあります。

ちなみに『The Daily Yomiuri』の記事は「読売新聞記事データベース」(熊本学園大学図書館ホームページ→データベース)で検索することもできます。



利用者の声

(英字新聞を利用している英米学科2年生にインタビューしました。)

● いつも利用する英字新聞を教えてください。

A. 『The Japan Times』と『The Daily Yomiuri』です。

● どんなときに利用していますか?

A. 授業で出された課題を作成する際に利用しています。

課題は、新聞を読んで、自分が興味を持った記事を抜き出してクイズを作ったり、キーワードとなる単語には速読用に意味や用法を加えたりしています。

● 英字新聞を読んで面白いと感じるところはどんな所ですか?

A. 一つ一つの文章の表現がとてもユニークです。世界で何が起きているのか、知らないことにも気付かされます。

政治や経済に関する記事だけでなく、ちょっといい話やコミカルな事件を取り上げた小さな記事は面白いですよ。自分が関心を持っている事柄の記事が載っていると、知ってる語彙が少なくても、興味をもって読み進めることができるし、英語に対するモチベーションも維持できます。

もし、いまの世界がつまらないと感じるなら、

もっと本を読んで、もっと人と話して、

これまでとは違った世界を探してみませんか。

いま手にしたその本を開けば、きっと

広くて深くてわくわくする世界が皆さんを待っているはずです。

ライブラリー探検 オープンキャンパス2008

今年も7月から10月にかけて3回の「オープンキャンパス」が行われました。図書館では、大学内の施設見学の一環として「ライブラリー探検」を行い、たくさん的高校生や保護者が訪れました。見学者の皆さんは友達と相談しながら館内の各フロアを回ったり、書架を眺めながら本を手にとったりと思い思いに時間を過ごしていました。特に人気のある視聴覚コーナーには、たくさんの利用者が訪れ、お気に入りのCDやDVDを視聴していました。また今回は図書館により親しんでもらうために、「あなたが生まれた日は何曜日だった?」「近代五輪がアテネで初めて開催されたのは西暦何年?」といったいくつかのクイズを用意し、答えを探してもらうイベント



も行いました。参加した高校生たちは図書や新聞などの資料を利用したり、パソコンを駆使して情報を集め、答えを探していました。この新しい企画はたいへん盛況でした。当日見学を訪れた高校生たちのほとんどが普段利用している高校の図書館とは違った館内の様子に興味を持ち、熱心に見学していました。

ナイストライ受入れ

熊本市立帯山中学校の2年生が、9月16日から18日までの3日間、本学図書館で職場体験実習を行いました。同校の「ナイストライ」事業推進の依頼を受けて毎年行っているもので、今年も10名の生徒が図書館業務について熱心に取り組みました。『13歳のハローワーク』という本が出版され広く活用されていますが、それを実践するという点でもあると思われます。

体験実習の内容は、文庫・新書コーナーの棚作りと本の移動、新刊受入時のバーコード貼付や蔵書印押下などに汗を流しました。毎朝の配架チェックも欠かせない仕事となりました。生徒の感想は、“図書館の仕事は簡単で楽な仕事と思っていましたが、それが間違いだと気づきました”とあり、実際に体験したからこそと言えるでしょう。

わずか3日間とはいえ、主役の生徒、コーディネイトする先生、見守る保護者、受入側の事業所とそれぞれの足並みが揃っての「ナイストライ」事業。地域に門戸を開いている本学図書館の一面を示した期間でもありました。



平成20年度学生懸賞論文応募状況

4月より募集していました平成20年度学生懸賞論文の応募は、9月30日に受付が締め切られ、今年も12篇（昨年度14篇）の応募がありました。現在、応募された論文について厳正な審査がおこなわれており、12月初旬には入賞者が決定します。入賞者ならびに表彰式日程については、館内掲示ならびに図書館ホームページにて発表されます。

12月中旬に予定されている入賞者表彰式には、入賞者の論文作成にまつわるエピソードなどを発表する場が設けられています。応募者ならびに指導を仰いだ先生がたはもちろんのこと、その他多くの皆さんのご出席をお待ちしています。

なお、入選以上の論文については、論文集として年明け2月に発行、館内で配布される予定です。

九州5大学図書館職員研修会開催

第14回九州5大学図書館職員研修会が11月12日に開催されました。会員校である（九州産業大学、久留米大学、西南学院大学、福岡大学、本学）図書館で働く17名の職員が参加し、各々の業務について疑問に思っていることや問題点について20項目以上におよぶ承合事項を事前に用意し、現場での実務を交え意見の交換を行いました。共通の課題として、書庫の収容の問題や利用者のマナーの問題など、活発な質疑応答がなされました。

また、同日午後3時より久留米大学、西南学院大学、福岡大学、本学の4館による外国新聞分担保存運営委員会も開かれ、有意義な一日を終えることができました。

図書館実習終了

毎年恒例となっている図書館実習が、4名の実習生を迎え、10月18日から24日までの日程で行われました。本学では第一部の全学科で司書および司書教諭資格取得のための課程を設けています。図書館での実習は「図書館特論」として4年次での選択科目となっており、本学図書館でも本学学生の実習受入・指導を行っています。この実習は図書館司書課程の講義・演習で学んできた理論

を実際の現場で実践し、具体的な技術の習得を図るものです。短い期間で図書館の基礎的な業務を学べるように、毎日違う業務での実習を行うこととなります。実習生は図書・雑誌の受入から目録作成、閲覧業務、雑誌・視聴覚資料の利用提供、レファレンス業務といった資料の流れに沿って、毎日さまざまな種類の仕事を手がけました。

毎日提出される実習記録には、新たに発見したことや気付いたこと、うまくできなかった対応への反省、司書という仕事への魅力と責任感の再認識など、毎日張り切って実習に取り組んでいる様子が記されていました。

実習を終えて

経営学科4年 松尾 亜美

図書館実習では、本当に多くの事を学ぶことができました。今まで知り得ることのなかった、図書の選書や受入、目録係の仕事など、利用者の手に渡るまでに多くの図書館員の方が関わっていることに驚きました。また、カウンター業務では、図書館を利用してもらえるように様々な工夫がされていました。一つ一つの係で丁寧に説明して頂きましたので、図書館の仕事がとてもわかりやすく理解できました。ありがとうございました。

何においても、実際に図書館で働くことができた事が本当にいい経験になりました。



図書館をもっと利用しよう

経営学科4年 米田 美里

今回の図書館実習は私にとって、とても良い体験となりました。図書の装備や地下書庫での配架など、実習でないと経験出来ない事を沢山やらせて頂き勉強になりました。個人的にはOPACの使い方をマスター

したので、これからの卒業論文の作成等で活用していきたいです。

資格取得の為に履修した司書科目で、こんなに素晴らしい経験が出来るなんて思っていませんでした。実習を受けて沢山図書館の事を学び、ますます図書館が好きになりました。この素晴らしい図書館を学生の友人達ももっと利用するように、皆に図書館の良さを広めたいです。

退館ゲート更新

夏期一斉休業期間前の8月11日・12日を臨時休館とし、退館ゲートの更新作業を実施しました。更新事由としては、図書館竣工当時から運用してきた資料不正持ち出し防止装置が、歴年の使用にともない感知精度が著しく低下したこと。また、しょうがいを持つ利用者へ配慮し、利用者がゲートフラッパーを押し開ける形態から、自動開閉方式を採用しました。

館内で緊急避難が必要となった場合、メインカウンタから入・退館ゲートを同時に、開放状態にする機能も備えています。



図書館ホームページをリニューアル

秋学期開始に合わせ、スクールカラーであるグリーンを基調にインデックスのデザインをリニューアルしました。

皆さんにいち早く知らせたい開館日時などの情報は、ページ上段の見やすい位置へ掲載するようにしています。また、中段に館内サービスとお知らせを大きく配置し、下段には本探しに便利なリンクをまとめました。

図書館ポータル「マイライブラリ」へのログインも、インデックスページから直接できるようになっています。

ぜひご利用ください。

データベースを活用しよう

● 「LEX/DBインターネット」「法律時報文献月報検索サービス」利用開始

2008年8月1日より2つの法律情報データベースが新たに利用できるようになりました。

どちらも学内にあるパソコンからのみ利用できます。

■ 「LEX/DBインターネット」……同時アクセス10

- ・明治8年から今日までの公表された判例と関連情報を網羅的に収録しており、収録情報は毎週更新される。
- ・判例全文、図表等も完全に収録している。
- ・判例全文中の名詞の全てがキーワード（固有名詞を除く）であるため、あらゆる角度から検索が可能。

■ 「法律時報文献月報検索サービス」……同時アクセス5

- ・日本評論社刊行の『法律時報』に掲載されている「文献月報」の検索ができる。
- ・昭和4年から直近月2ヶ月前の77年間にわたるデータを収録している。

【内容】

法律学・政治学等に関する著書・報告書・雑誌その他の刊行物に掲載された論文・書評・資料等。最高裁判所、高等裁判所、地方裁判所、大審院、その他の判例評釈。

● 「日経FinancialQUEST」を活用しよう

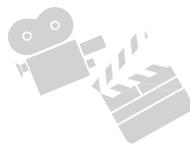
日本経済新聞デジタルメディアが収録する「NEEDS」データベースから、“マクロ・金融”、“産業統計”、“地域・人口”、“海外マクロ”の最新データをダウンロードすることができます。データはエクセル形式のファイルで保存することもできます。

マクロ経済分析、自治体の財政比較など用途に合わせたデータを取得し、調査・研究またはレポート、論文作成などに大いに役立ててください。

その他にも雑誌記事・論文や新聞記事を検索したり、有価証券報告書の閲覧ができるものなど各種データベースが利用できますので、熊本学園大学図書館のホームページから「データベース」のページをのぞいてみてください。

平成20年度 図書館シネマ

上映会は以下の日程で行っております。



春学期

| | 日 | 時 | タイトル |
|-----|----------|--------|--------------------|
| 第1回 | 4月23日(水) | 15:00~ | ミラクルバナナ |
| 第2回 | 4月30日(水) | 15:00~ | 初恋 |
| 第3回 | 5月14日(水) | 15:00~ | 裁判員/選ばれ、そしてみえてきたもの |
| 第4回 | 5月28日(水) | 15:00~ | 典子は、今 |
| 第5回 | 6月11日(水) | 15:00~ | 長くつ下のピッピ |
| 第6回 | 6月25日(水) | 15:00~ | 心の旅 |
| 第7回 | 7月9日(水) | 15:00~ | 芙蓉鎮 |

秋学期

| | 日 | 時 | タイトル |
|------|-----------|--------|--------------|
| 第8回 | 10月8日(水) | 15:00~ | サッドムービー |
| 第9回 | 10月23日(木) | 14:45~ | ジョンQ ~最後の決断~ |
| 第10回 | 11月5日(水) | 14:45~ | オールウェイズ |
| 第11回 | 11月19日(水) | 15:00~ | イキングット |
| 第12回 | 12月3日(水) | 14:45~ | 砂の器 |
| 第13回 | 12月17日(水) | 15:00~ | 森は生きている |

図書館では、月に2回、映画上映会を行っています。地下AVホールは音響設備も整っており、大画面で迫力ある映画を楽しむことができます。ぜひ一度、お越しください。

図書館購入リクエストできます

「この図書を読みたいのに、学園大にない。」そんな時はあきらめないで、希望図書の購入リクエストをしてください。

リクエストされた図書は、図書館内の選書委員会にて検討されます。

《リクエスト方法》

■ リクエストカードから申込む

カードに記入し、スタッフに手渡すかもしくはリクエストボックスへ入れてください。

(リクエストカードは1階中央展示台横に置いています)

■ 図書館ポータル「マイライブラリ」から申込む

図書館のホームページから図書館ポータル「マイライブラリ」へアクセスしてください。

読みたい図書を手にするチャンスです！
詳細は、1階メインカウンターにお尋ねください。
皆さんからのリクエストをお待ちしています。



学生時代に五木寛之を愛読した。『蒼ざめた馬を見よ』『さらばモスクワ愚連隊』など、ロシアや北欧の異国の地に思いを馳せたりしたものだ。「デラシネ」（根無し草）なんていうカッコよさに憧れていた。しかし、根っからの行動力のなさでいまでもって海外へ出たのは、ソウルのみというおおよそ異文化・国際化とは隔たった生活をおくっている。

学生を前にして“図書館では世界中の資料の所在を調べることが出来るし、貸借や複写でそれらを利用できますよ”とか言って、図書館から世界への広がりやガイダンスで強調してきたのも面映いところがある。

ただ異文化といったら外国のことに限らないで、国内というか地元のことにもっと関心を持ちたい。まだまだ足を踏み入れていない「県」はあるし、熊本だって未知の地域がある。山奥深いところに出かけることもあるがそれぞれの地域に歴史・文化・地理を感じる。そこに住んでいる人とコミュニケーションが取れればなおよいのだが…。そういう民俗学的なことを思っていると、『柳田國男全集』が並んでいる書架の前を通るたびに“読んでくれ”とサインを送られている気が

する。（いまはそんな時間がないよ…） ついでにNHKの紀行・バラエティ番組『鶴瓶の家族に乾杯』みたいなことも異文化コミュニケーションと云えるのではないかな。

図書館の稀覯書にマルクス『資本論』の初版本がある。ドイツ語版だけではなく、フランス語・ロシア語・英語・イタリア語・デンマーク語・日本語の訳本も揃えた。その解題らしきことに手をつけてみると、ロンドン滞在中のマルクスが大英博物館の図書館で研究を重ね『資本論』を執筆したことがわかった。専用の席まであるくらいに博物館に通い詰めたマルクスのことを思うと、今からでもロンドンへ…と若い頃の気持ちになったりもする。

異文化理解、国際理解の第一歩は、自分を知る、他者を知り理解する、その相互に違いがあれば何なのかを考える。そんなことではないか。ホームページやパンフレットの図書館からの情報発信も理解されるためには多言語にする必要があるかもしれない。ProQuestやEBSCOのインターフェイスが日本語表示にもなっているように。（奉仕課長 津村 秀夫）

図書館日誌

平成20年4月～11月

見学者・団体

| | | |
|--------|-----------------|------|
| 4月15日 | 熊本商科大学第一期生 | 55名 |
| 5月20日 | 尚綱高等学校PTA | 12名 |
| 6月 6日 | 高森高等学校 | 21名 |
| 6月12日 | 阿蘇清峰高等学校 | 18名 |
| 6月17日 | 植木町立鹿南中学校 | 20名 |
| 6月24日 | 飯野高等学校PTA(宮崎) | 15名 |
| 6月28日 | 鎮西学院高等学校PTA(長崎) | 25名 |
| 7月 7日 | 南稜高等学校 | 33名 |
| 7月31日 | 大田中学校学生自治会(韓国) | 8名 |
| 8月 5日 | 荒尾高等学校 | 13名 |
| 8月 5日 | 人吉高等学校PTA | 9名 |
| 8月 5日 | 水俣高等学校 | 30名 |
| 8月21日 | 八代東高等学校 | 30名 |
| 8月21日 | 順天郷大学(韓国) | 34名 |
| 8月22日 | 済々黌高等学校図書委員会 | 8名 |
| 8月25日 | 八代東高等学校PTA | 13名 |
| 9月13日 | 必由館高等学校 | 2名 |
| 9月18日 | 龍谷高等学校(佐賀) | 56名 |
| 10月 8日 | 東稜高等学校 | 27名 |
| 10月15日 | 菊池農業高等学校 | 54名 |
| 10月23日 | チェコ・西ボヘミア大学 | 2名 |
| 10月29日 | 湧心館高等学校 | 180名 |
| 10月29日 | 多良木高等学校 | 65名 |
| 11月 7日 | 黒石原養護学校 | 5名 |
| 11月13日 | 鹿本商工高等学校 | 30名 |

行事

| | |
|------------|----------------------------|
| 4月 3日 | 入学式 |
| 4月 4日～7日 | 新入生オリエンテーション 図書館ガイダンス |
| 4月30日 | 図書館委員会 |
| 5月14日 | 図書館委員会 |
| 6月 7日 | インターライブラリースポーツ大会 |
| 6月21日 | 熊本地区保護者懇談会 図書館開放 |
| 7月16日 | 図書館委員会 |
| 7月21日 | オープンキャンパス図書館開放 |
| 7月30日～9月8日 | 夏期休業特別貸出 |
| 8月 5日 | オープンキャンパス図書館開放 |
| 9月16日～18日 | 帯山中学校ナイストライ (職場体験実習)受入れ |
| 9月30日 | 学生懸賞論文募集締切 |
| 10月18日 | オープンキャンパス図書館開放 |
| 10月18日～24日 | 図書館実習 |
| 10月29日 | 図書館委員会 |
| 11月12日 | 九州5大学図書館職員研修会 |
| 11月19日 | 図書館委員会 |
| 11月23日 | 休館(大学推薦入試) |

ルールを守って利用しよう。

図書館で見かけるこんな利用者をみなさんはどう思いますか？

- ・ 大声で話す
- ・ 他人の学生証で入館する
- ・ 飲食物を館内に持ち込み、飲んだり食べたりする
- ・ 携帯電話で通話する
- ・ 借りた本をいつまでも返さない
- ・ 図書館の本に書き込みやページの切り取りをする

みなさんはどの行為もルール違反だと気がついていきますか？

図書館はキャンパス内にある公共の場です。もっと周りへの気遣いや思いやりの気持ちを持って利用してください。

■ 編集後記 ■

今回は特集の中で「私がお薦めする一冊」を取り上げました。皆さんも「この本は！」と思える一冊を探してみませんか？今後も気軽に快適に本が読める図書館を目指して、日々環境作りに努めて参ります。



Kumamoto Gakuen University Library bulletin

大楠 第43号 2008年11月30日

編集・発行／熊本学園大学付属図書館 〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号 TEL(096)364-5161 FAX(096)362-5967 <http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

